

事業名	道路改築事業		路河川名等	一般県道 三水中野線		
事業毎の通番	5	市町村名	中野市	箇所名(ふりがな)	安源寺(あんげんじ)	
事業目的	一般県道三水中野線は、飯綱町を起点に、中野市豊田と中野市街地を直接結ぶ最短の路線である。また、通学路や生活道路として児童、地域の方の利用が多いが、当該箇所は、車道幅員が狭く、歩道が設置されていない。本事業は、車両通行の円滑化による地域の生活支援及び歩行者の安全確保を図るため、道路拡幅を行うものである。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	中野市通学路交通安全プログラム 中野都市計画区域マスタープラン 中野市総合計画					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 5,677台/日					
着手年度	平成29年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成33年度	費用対効果	2.5	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=550m W=6.0(9.75)m			320,000	176,000 129,600 14,400	
年度事業内容(主な工種)	用地補償 一式			100,000	55,000 40,500 4,500	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 7億円 通学路の安全確保				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光振興				
評価の視点	必要性	○代替道路の有無 : 有 ○交通結節点アクセス : バス路線 ○生活支援・観光振興 : 教育施設との連携(高丘小学校) ○地域の活性化 : 北信濃ふるさとの森文化公園(レジャー施設)の1次アクセス道路			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 通学路交通安全プログラム、都市計画区域マスタープラン、市総合計画 ○緊急輸送路の路線指定 : 中野市の緊急輸送路として指定 事業区間内に主要避難地である「中野市西部文化センター」への入口あり ○地域指定 : 信越観光圏(H24認定)			評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C) : 2.5 ○事業期間 : 5年(H29~H33)(部分供用可能) ○工法等の比較検討 : 住民参加により線形検討を実施 ○他事業との連携 : なし			評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 7件(H25~H27) ○危険箇所対策 : 通勤・通学時間帯のボトルネック対策 ○歩道整備 : 歩道未整備区間に歩道を整備、通学路対策 ○道路構造 : 最小幅員5.2m			評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(H25設計説明会を開催、H26用地立会を実施) ○地域の取り組み : 積極的な取り組みがある(三水中野線期成同盟会) ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている ○住民との協働 : 地元の安源寺区が近隣の県道で道路アダプトを実施			評価	A
	部意見	事業の必要性、効率性及び緊急性が高いため、平成29年度から新規事業化した。	行政改革課意見	現道は幅員が狭く、歩道は未整備で、円滑な交通に支障をきたしていることから、必要性、緊急性が認められる。	評価結果	総合評価

位置図

写真

標準横断面図

事業概要説明図表

平面図

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的背景・社会的背景	三水中野線は中野市街地と旧豊田村を結ぶ幹線道路で、高丘工業団地と昔からの住宅地が沿線に広がっている。地区内の道路が狭いが、交通量の増加や事故の発生があるため、地域から道路拡幅が要望されている。また、付近に小学校、市街地側に中学校及び高等学校があることから、歩行者の安全確保が求められている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	三水中野線期成同盟会により、道路拡幅の要望が挙げられている。
③事業説明等の経緯	本事業区間は平成18年から地元要望を受け、計画について住民参加で検討を行い、沿線の合意形成を図っている。H25年10月に設計説明会を開催、H26年1月に用地境界立会を実施。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	中野市通学路交通安全プログラム、中野都市計画区域マスタープラン、中野市総合計画に整備拡充が位置づけられている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	道路を整備することにより、中野市豊田地区(旧豊田村)などから地域の基幹的医療施設である中野総合病院(東京医療生活協同組合新渡戸記念中野総合病院)へのアクセスが向上する。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、付近のレジャー施設等の活性化が期待される。「故郷」「紅葉」「春が来た」の作詞で知られる高野辰之、「シャボン玉」「カチューシャの唄」などの作曲で知られる中山晋平の記念館を中野市が観光の拠点として整備しており、三水中野線は両施設をつなぐ最短ルートとして観光活性化に資する。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 36° 44' 31" 22
東経:E 138° 22' 10" 02